

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスからふる佐野		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		R7年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	R6年 12月 16日		R7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・全員が常勤職員の為、ミーティング会議の機会を設けやすく日々の支援で、終日全員が支援に入ることができ全職員がお子様一人ひとりの状況を把握、理解できる体制が取れています。	・全員が常勤職員として勤務し職員間の報告、連絡、相談が出来ております。LINE機能を活用し、常に最新の情報を把握、お子様達との関わり、保護者様対応がしっかり出来る体制を取っています。 ・支援や送迎など固定ではなく全職員がローテーションで対応し偏りなく支援ができるように行っています。	・今後も職員体制をしっかりと整え、お子様たち一人ひとりの理解に努め、支援を行っていきます。 ・社内外の研修等に参加し専門性を高められるように努めていきます。
2	・保護者様との良好な関係性とサポート体制が取れています。	・保護者様がいつでも相談しやすい環境を整え信頼関係を築けていけるよう丁寧なやり取りを心掛けています。 ・電話やメール(LINE)、送迎時のご相談に対しても可能な限り即時対応できるように努めており、必要に応じて関係機関との連携を図りながら対応しています。	・保護者様のニーズに応じていけるよう関係機関との連携を図り、保護者様の不安や悩みに迅速に対応し、安心していただけるよう努めていきます。
3	・活動スペースが広く、庭も併設しています。	・室内外に関わらず、鬼ごっこやサッカーなど身体をのびのびと動かして遊ぶことができるスペースがあり、お子様達が楽しみにしている遊びを活動に合わせ環境設定をしています。 ・併設されている庭を最大限に活用し、天気の良い日には庭でおやつやお弁当を食べたり、夏には大きな滑り台付きプールで水遊びや、流しそうめん、食育として植物や野菜を育て収穫し料理をして食べるなども行っています。 ・トランポリン、縄跳び、ミニバスケット、フラフープ、バランスボールなど季節や場面に合わせ活動の場を変えることで遊びや活動の幅が広がるよう、お子様たちが最大限楽しみながら療育活動に参加できるよう配慮していきます。	・活動が重複しないよう活動スペースをバランス良く有効利用できるよう工夫していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の他の子どもとの交流の機会が不足している。	・放課後児童クラブや児童館との交流や地域の他の子どもと活動、交流する機会が少ない。 ・ご利用されているお子様の学年が上がり下校時間が遅くなってきたこともあり、児童館等を利用できそうな日が限られてきてしまう。	・近隣の児童館を利用させていただいているが、長期休み等を通じて、来館の機会を設け他のお子様との交流の場を増やし関わりを持っていく。 また、地域を巻き込んでのからふるフェスを開催し、地域支援連携を深めていく。
2	・就労に繋がる活動が十分とは言えない。	・対象となるお子様がいないことからどのような就労支援施設があるのか？また、仕事内容や賃金等はどのような様になっているのか？などの知識と情報が少ない。	・ご利用されているお子様が住んでいる地域にどのような就労支援事業所があるのかを調べ、施設見学等をさせていただき保護者様に情報提供できるよう態勢を整えていきます。 ・就労するまでに何が必要で、どんなことを習得しておくの良いのかを学び、日々の活動に取り入れ就労に繋げられるよう努めていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		からふる佐野		公表日		R7年3月7日		利用児童数	19	回収数	19
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
			環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17			2	0	0
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0	・法規より2名多く加配して対応しております。				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	0	1	・建物の構造上、不便な箇所もあるが、一般社会への適応、手段を考えて問題解決できる工夫をトレーニングを兼ね行っております。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0	・日常の感染予防に配慮して清掃、除菌を行い清潔な空間を確保しています。保温便座、クッションマットを新規導入いたしました。				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0	・必要に応じて、支援内容を分けたり、職員の介助のもと活動を行っております。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0	・日々の事前ミーティングにより、フィードバック、アップデートを行っております。				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0	・日々のミーティングや定期的なモニタリングを行い、報連相を徹底して計画に反映させております。				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	1	・日々のミーティングや定期的なモニタリングを行い、報連相を徹底して計画に反映させております。ガイドラインに基づき、今後も「地域支援」も行ってまいります。				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0	・日々のミーティングや定期的なモニタリングを行い、報連相を徹底して計画に反映させております。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	0	0	0	・活動の成熟度に応じて活動名は同じでも内容の変更を行っております。				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	2	1	4	・様々な感染症が良好していますので今のままでよい ・同事業所内での交流を行い、近隣の児童館や施設外活動を通じて交流の機会を設けております。				
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0	・契約時、面談時に説明させていただいております。				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0	・契約時、面談時に説明させていただいております。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	3	9	・保護者様のお悩みや困りごと等に相談支援を行わせていただいております。必要に応じて、ご家庭へ訪問させていただいております。今後、保護者会等開催させていただき、相談や情報の共有等の機会を作っていきたいと考えております。				
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0	・連絡帳や送迎時等には、細かな情報共有をさせていただいております。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	0	・面談は、定期的に行わせていただいております。子育てに関する助言等は保護者の方に必要性を確認し、対応させていただいております。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0	・今後も、共感的に支援させていただけるよう努めて参ります。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	4	3	8	・今のままで満足しています ・次年度は、保護者会の実地を考慮しており、その際、懇談会を設け情報共有や保護者様同士の交流ができればと考えております。 ・ごきょうだい児への相談支援も行わせていただいております。				
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	1	0	0	・個別支援計画に相談支援について明記し、面談や個別支援会議の際に説明させていただいております。オンラインでの相談支援もさせていただいております。				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	19	0	0	0		・今後も、連絡帳や送迎時LINE等で気軽に情報共有できるような環境を整えて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	0	0		・定期的に「からふる佐野」通信を発行させていただいたり、ホームページにてブログの更新をしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	0	0		・個人情報の取り扱いには十分注意しております。ご利用者様へのおたよりは、お子様のお顔をお出ししておりますが、外部へは一切お顔はお出ししておりません。 ・個人情報が記載されている書類等は、鍵付きの書庫に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	0	2		・各マニュアルを策定しております。からふるの玄関にボックスが設置してありますのでいつでも保護者の方の観覧が可能です。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	0	0		・定められたすべての避難訓練を計画的に実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	1		・安全計画について、全保護者様に文章にて説明させていただいております。 ・定期的に、安全点検を実施し、お子様方と各場面を想定した安全についての学習も行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	2		・事故発生マニュアルを策定しており、速やかに保護者様へ連絡、報告ができるよう研修を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	0	・子どもは先生方が大好きなのでとても安心して通っています。	・保護者の方にお子様の様子を見て判断いただき、今後も安心していただけるよう継続していきたい思っております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	0	・とても本人は楽しみにしています ・いつも楽しい外食学習や活動があります。	・お子様たちの特性に合わせた支援を行うため、段階を踏みながら達成感を感じられる支援を行ってきたいと考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	・利用して安心して働いたり、下の兄弟の面倒を見ることができ助かってます。急な予定変更にも快く対応してもらって非常に感謝しています。ありがたい。	・評価していただき、ありがとうございます。今後の支援への活力になり、感謝しております。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		からふる佐野		公表日		R7 年 3 月 7 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		法令を遵守し、安全に十分な運動や活動ができるように、工夫して活動を積極的に行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		法令を遵守し、必要とされる配置人数に加え2名加配しています。 児童発達管理責任者1名、保育士2名、児童指導員2名		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		完全バリアフリーとは言えないが、段差をなくす等し、常に職員が見守るなかで安全を確保し活動を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃に加え、適宜消毒を行い清潔感のある環境を保つように心がけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンスペースがあり、個別に対応できる体制を取っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		事業所で目標設定をし、支援の向上を意識しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様から頂いたご意見をもとに、より良い支援が出来るよう努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日のミーティングで意見交換を業務につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		相談支援専門員等関係機関と連携を取り相談、助言をいただいています。	第三者による外部評価は実地できてないが、相談支援専門員や他の事業所の方の意見を聞き業務改善につなげてます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		外部研修に加え、内部研修を毎月実地し、質の向上を図っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HPで公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		定期的にあセスメントを行い、児童の状況や保護者様のご意見を踏まえ適切に支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員全体で定期的なモニタリングを実地し、保護者様とお子様の状況把握・振り返りを行ったうえで見直し作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画に沿った支援を行えるように、定期的にケース会議を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		面談、連絡帳、LINE機能を活用し保護者様と随時情報共有を行っております。又、保護者様から専門機関で受けた検査結果等の情報をいただき活用しております。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		5領域の視点を踏まえたアセスメントを行った上で、4つの基本活動を複数組み合わせながら、個々のお子様に応じて支援を提供していくことを重要と考え設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員全体でお子様達が楽しく色々な体験ができるように考え、活動プログラムが固定化しないように工夫しています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節行事等を必ず取り入れながら楽しく色々な経験ができるように考え、活動プログラムが固定化しないように工夫しています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個々のお子様の状況を見ながら、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を立てています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日事前にミーティングを行い、その日のスケジュール確認をしています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		送迎終了後に、振り返りをしています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		個人記録を記入し、支援の検証、改善につなげています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的に行っています。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		「4つの基本活動」を組み合わせでの支援を行っています。お子様達の自己選択や自己決定を促すとともに、お子様達が主体性を発揮しながら参加していけるよう支援しています。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自己選択ができるような活動を取り入れています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		担当者会議前に全職員間で情報の整理を行ったうえで会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		地域の医療機関、障害福祉等との関係機関と情報を連携し、支援を行える体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時、担当者会議等で学校との情報共有をおこなっています。必要な連絡を取り合い、調整をおこなっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		都度必要に応じて情報共有と相互理解をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	まだ対象者はいませんが、必要に応じ移行先への情報共有に努めていきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		児童発達支援センターとの連携を大切にし、アドバイザーの方の派遣を依頼し、研修、助言をいただける機会を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		児童館や公園に赴き、地域のお子様や大人の方と交流させていただいています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5	県で開催されていることは知っているが定員数が少ないこともあり傍聴、参加までに至らず、積極的な参加、申し込みできていません。	機会があれば参加したいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		面談時や送迎時に情報共有をし、お子様の発達状況の共通理解を常に持つようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		送迎時に連絡帳での連携、声かけをし、保護者様に支援内容の理解、協力への取り組みをしていただいています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		定期的に行い、必要に応じて適宜面談を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		定期的に行い、必要に応じて適宜面談を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		お子様の状況に応じて保護者様とお話しし、悩みや相談に適切に対応するようにこころがけています。	相談しやすい環境づくりにも努めていきます。
	40	文母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	面談時等にきょうだい支援を行っているが保護者会、交流会についてはまだ行えていない。開催に向けての計画、準備を行っています。	次年度は開催したいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・頂いたご意見は、職員全員に周知し、直ちに話し合いのもと改善策を立案し実行しています。 ・苦情窓口を設置しており、すぐに対応できる体制にしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		おたよりやHPのブログ等により活動内容や行事予定を公表しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		守秘義務は就業規則等で定めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		お子様の特性などを把握したうえで配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		オープンイベントを今年初めて開催し、地域の方々に参加していただけたので、今後も積極的に行っていきたいと考えています。	地域の方々との交流の機会を増やしていけるよう、情報収集等行っていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルをHPに載せている。定期的に緊急時を想定した訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年2回総合避難訓練、定期的に避難訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		事前のアセスメントで保護者様より詳しく情報を頂き、職員全員が把握できるよう徹底しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		事前のアセスメントで保護者様より詳しく情報を頂き、職員全員が把握できるよう徹底しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、計画に沿って日々研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時、年度初めにご家族様へ周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事例が起こった際は、職員間で情報共有を実地し、完全策を検討して記録に残しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待チェックリストを活用し、意識啓発に努めている。委員会の設置、研修も行っていきます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		自傷他害、生命、身体の危険が非常に高い時、行動制限を行う以外代替支援の方法がない場合の行使への同意は得ているが、原則、身体拘束は行っていません。	